

2020年度第3四半期決算説明会における主要な質疑応答

質問	回答
<p>Q1 : 航空宇宙システム事業の営業利益について、第3四半期(10~12月)は46億円の黒字ですが、第4四半期(1~3月)に57億円の赤字見通しとなる理由を教えてください。</p>	<p>A1 : 以下の2点が主な理由です。</p> <p>① 機体では、ボーイング社向け787分担製造品で更なる減産が予定されており、第2四半期では通期98機の計画でしたが現在は77機の計画としています。</p> <p>② ジェットエンジンでは、第3四半期に集中した新造エンジン売上に対応するFIA[※]の負担が第4四半期に発生する見込みです。</p> <p>※当社のメインパートナーが航空会社に対してジェットエンジンを販売する際に、航空会社から請求されるFIA (Fleet Introductory Assistance) と呼ばれる一種の値引について、当社はプロジェクトの参画割合に応じてこれを負担している</p>
<p>Q2 : ロボット事業における、足元の事業環境はどうか。</p>	<p>A2 : 足元では特に半導体製造装置向けロボットが好調に推移しており、今後も堅調に推移すると期待しています。また、中国では自動車向けロボットも好調に推移しており、一般産機向けロボットの需要も伸長しています。</p>
<p>Q3 : 車両事業は赤字が続いていますが、いつ黒字化を達成できますか。</p>	<p>A3 : 第4四半期には北米案件において新型コロナウイルス感染拡大の影響による追加引当を見込んでいるため、今年度は赤字が拡大する見込みです。来年度における当事業の黒字化は経営の必達課題と認識しています。</p>
<p>Q4 : モーターサイクル&エンジン事業について、北米市場の足元の事業環境はどうか。</p>	<p>A4 : 新型コロナウイルス感染拡大による巣ごもりの反動からアウトドア需要が拡大し、オフロード二輪・四輪の売上は引き続き好調です。キッズ向けオフロード二輪・四輪も好調に推移しており、新たな需要層も開拓できていると認識しています。</p>

2020年度第3四半期決算説明会における主要な質疑応答

質問	回答
Q5 : モーターサイクル&エンジン事業の営業利益について、今年度第4四半期の利益額が例年と比較し低い水準にとどまる理由を教えてください。	A5 : 北米向けのオフロード二輪・四輪の売上は好調ですが、コンテナ不足や北米国内でのドライバー不足による物流の遅れが発生しています。また、当社のタイ工場から北米工場への四輪向け部品の輸送が滞っており、部品調達にも問題が発生していることから、例年とは異なる利益トレンドになる見込みです。

以上